

# 日光医療センター通信

～いろは～



獨協医科大学日光医療センター  
Dokkyo Medical University Nikko Medical Center



2014.7 第22号



切込湖（栃木県日光市）

主な内容

診療紹介（神経内科）	2
部門紹介（透析部）	3
手術部兼透析部 臨床工学技士	3
個室・特別室リニューアル完了のお知らせ	5
日光医療センター外来新規患者5万人超え！	5
旬を食べよう／求人情報	6



診療紹介 シリーズで当センターの診療内容についてご紹介いたします。

## ▶ 神経内科

### ★神経内科とは

脳や脊髄、神経、筋肉に病気があり、体が不自由になる病気を診ます。

注) 精神的な問題により体の異常を来たす病気(うつ病など)を診る精神科、精神神経科、神経科、心療内科とは異なります。

### ★どのような症状が多いか

頭痛、めまい、けいれん、もの忘れ、手足の震え、物が二重に見える、呂律がまわらない、言葉が出てこない、手や足に力が入らない、うまく歩けない、触っている感覚が分からないなどの症状があげられます。

### ★どのような病気をみるのか

脳卒中、頭痛(片頭痛など)、めまい症、認知症、てんかん、パーキンソン病、多発性硬化症、筋萎縮性側索硬化症、筋ジストロフィー、筋炎、重症筋無力症などを診ます。当院では主に脳卒中、パーキンソン病、認知症、頭痛を診ています。

#### ■パーキンソン病の主な症状

- ①じっとしていると手や足が震える
- ②動きが遅くなる、歩くのが遅くなる
- ③筋肉が硬くなる
- ④体のバランスが取りづらくなる
- ⑤便秘、排尿障害 など

#### ■片頭痛の主な症状

- ①主に片側の脈打つような頭痛がある
- ②月に数回～10数回ある
- ③吐き気を伴う事がある
- ④動くとき痛みが増悪する
- ⑤目がチカチカするなどの前兆がある など

#### ■脳卒中の主な症状

- ①体の片側の力が入らない、しびれる
- ②しゃべりづらい、話がかみ合わない
- ③突然の視力障害
- ④歩行障害・めまい・ふらつき
- ⑤激しい頭痛 など

#### ■認知症の主な症状

- ①すぐ直前の出来事を忘れる
- ②日時、場所などが分からない
- ③考えるスピードが遅くなる
- ④思い込みが強くなる
- ⑤不安感が強くなる、落ち着きが無くなる など

● このような症状が疑われた際には当科へご相談を ●  
下記検査機器にて精査致します

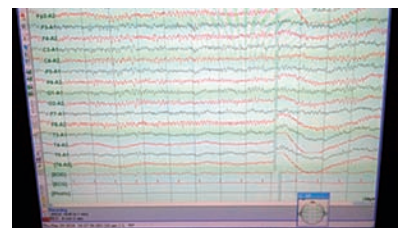
MRI



CT



脳波



#### [外来担当表]

月	火	水	木	金
渡邊准教授	山本医員	渡邊准教授	山本医員	山本医員



## 部門紹介 シリーズで当センターの各部門をご紹介します。

### ▶ 透析部

全国で30万人、栃木県内では5,500人の慢性腎臓病の患者様が、維持透析を受けております。新しく透析に導入する患者様の約6割が糖尿病性腎症ですが、糖尿病性腎症患者様は心臓や血管の病気をたびたび合併します。維持透析となっても安心して適切な医療を受けられるように、当院では血液透析室をこのたび新設し、透析患者様の心臓や血管の合併症の診断と治療にも心血を注ぎます。腎臓内科専門医の下山正博先生が、7月1日に透析部門に着任し、慢性腎臓病(CKD)の診断と治療と並行して血液透析療法にも従事します。

ベッドは現在、6床で月水金2クール、火木土1クール治療可能です。大学病院としての役目を果たすべく主な対象患者様は、①透析導入、②維持透析患者の心臓カテーテル検査や血行再建術前後の透析、③シャントトラブルに対するバルーン治療前後の透析、④心・血管疾患合併などリスクのある患者様の維持透析です。医師、臨床工学技士、看護師が個々の専門性を活かし、安心して安全な医療を提供すべくチーム医療を実践してまいります。

透析部長 安 隆則



### 手術部兼透析部 臨床工学技士

私たち臨床工学技士は、2006年4月の開院に伴い、1名で医療機器管理業務を開始しました。2010年心臓カテーテル検査や手術室での業務が増えたことで1名を増員。

そして今年度、透析室開設に伴い2名の増員となり、計4名(男性3名、女性1名)で業務を行っています。

#### 【臨床工学技士という職業をご存知でしょうか?】

臨床工学技士とは「厚生労働大臣の免許(国家資格)を受けて、臨床工学技士の名称を用いて、医師の指示の下に、生命維持管理装置の操作及び保守点検を行うことを業とする者」と定義され、病院の中には医師や看護師の他に多くの医療従事者が働いていますが、臨床工学技士も病院の中で働く医療従事者の一つです。主に院内の医療機器の保守・点検・操作を業務としています。



### 【当院での主な業務】

- 血管造影室業務

造影検査や血管内治療、またアブレーションやペースメーカーなど不整脈治療での機器操作を行っています。

- ME機器室業務

輸液ポンプ、シリンジポンプ、人工呼吸器などの保守・点検を行っています。

- 手術室業務

心臓血管外科や整形外科手術での自己血回収装置の操作を行っています。

- 透析室業務

6月から本格的にスタートした新規業務です。  
臨床工学技士2名を配置し、血液透析を行っています。

### 【主な管理機器】



多人数用コンソール



シリンジポンプ



輸液ポンプ



人工呼吸器

## 個室・特別室リニューアル完了のお知らせ

これまで当センターの個室数は13室（特別室を除く）でしたが、個室利用の需要増加から、各病棟を一部改修し、許可病床数は据え置いたまま、個室数を23室（特別室を除く）に増やしました。このうち8室には、これまで備えていなかったシャワー室及びトイレを設置し、室料差額料金の異なる2種類の個室を用意いたしました。

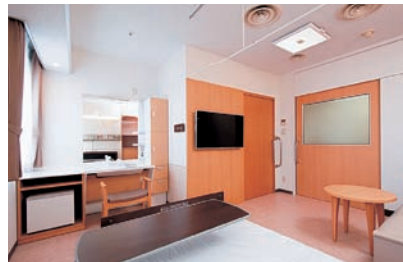
また、各病棟に1室あった特別室についても、当センター開設以来内装改修等を実施しておらず、トイレの段差解消による医療安全面への考慮並びに、トイレのウォシュレット化、大型テレビの設置、シャワー室及び大型洗面化粧台の設置等、患者様の療養環境改善を目的とした、高級感と機能性を兼ね備えた部屋にリニューアルいたしました。各階（3階・4階）に和風タイプ、洋風タイプを各1室設え、壁紙・床材等入院環境に適した材質を使用することで、入院患者さまの癒し空間作りに配慮いたしました。

### <特別室>

#### ●和風タイプ



#### ●洋室タイプ



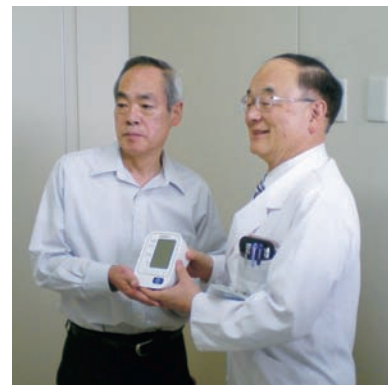
## 日光医療センター外来新規患者5万人超え！

当センターの外来新規患者が、平成26年5月13日で5万人を超えました。当日、5万人目の受診となった日光市森友の高橋壮典さまに記念品のデジタル血圧計が中元隆明病院長から贈呈されました。当センターは平成18年4月の開院から丸8年1か月で新規患者さまが、5万人を超えることとなりました。

中元隆明病院長から血圧計を手渡された高橋さまは、「内科の病気を大きな病院でよく診てもらおうと来院しました。しっかり検査を受けていきたい」と診察室に入りました。

中元隆明病院長からは、「地域の皆さんの要望にしっかり応えられる医療を提供し、これからも多くの患者に利用していただきたい」との話がありました。

当センターは、今後も地域医療に貢献し質の高いチーム医療により医療サービスの提供を行い更に多くの受診患者様が安心して受診出来る医療機関を目指していきます。





## 旬を食べよう

### オクラ

ネバネバとした独特の食感で親しまれているオクラは、7月から8月が旬の緑黄色野菜です。

#### 《 栄養 》

切ったり刻んだりしたときに生じる独特の粘りの正体は、主にペクチンとムチンという2つの成分です。水溶性食物繊維のペクチンには、血糖値の上昇を抑えたり、悪玉のコレステロールの吸収を妨げる働きがあります。糖たんぱく質のムチンには、胃の粘膜を保護してたんぱく質の消化を促す働きがあります。胃腸が弱りがちな夏の暑い時期にはおすすめの野菜です。

#### 《 選び方 》

- 長さ5～6cmの小ぶりなもの
- 緑色が濃く、へたが黒ずんでいないもの
- 角がくっきりしているもの
- うぶ毛が多くて、適度にやわらかいもの



#### 《 保存方法 》

- ビニール袋などに入れて冷蔵庫で保存します。
- すぐに食べないときは、かために塩ゆでして水けを切ってから冷凍保存すると長もちします。

#### 《 おいしい食べ方 》

- 生のうぶ毛が残っていると口当たりが悪くなるため、塩もみをしてうぶ毛を取りましょう。へたには苦味があるので切り落とします。
- 長時間ゆでると、栄養成分の高いネバネバ成分が減ってしまうため、生のままか、さっとゆでて使いましょう。サラダ、和え物、炒め物にしたり、煮物、天ぷら、味噌汁などにも使えます。

### 当センターと一緒に働いてみませんか？

#### 看護職員募集中 平成27年度看護職員採用試験

- 1回目 8月29日(金)〔応募締め切り8月22日(金)〕
- 2回目 9月27日(土)〔応募締め切り9月19日(金)〕
- 3回目 10月25日(土)〔応募締め切り10月17日(金)〕

平成26年度採用については、随時対応いたします。

▼詳細なお問い合わせは

TEL 0288 - 76 - 1515 (内線270) 看護部

### 編集後記

連日暑い日が続いています。こんな時には思わず冷房のスイッチに手が伸びてしまいがちですよ。でもちょっと待ってください。冷房の効かせ過ぎには注意が必要です。調べたところ外の気温と室内の気温の差が5度以上になってしまうと、自律神経の調節がうまくいわずに体調を崩しやすくなってしまうそうです。近年は気温が35度を超える猛暑日も多く、とても我慢できない！ってことも……。そんな時は設定温度を下げるのではなく、扇風機を使って部屋の空気を循環させるなどしながら猛暑を乗り切りましょう！

### 日光医療センター通信 ～いろは～ 第22号

〒321 - 2593 栃木県日光市高德632番地 TEL 0288 - 76 - 1515 (代表) FAX 0288 - 76 - 1611

<http://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/indexj.html>

発行年月日／平成26年7月3日

編集・発行／獨協医科大学日光医療センター広報委員会

印刷／(株)松井ピ・テ・オ・印刷

携帯サイトはこちら

<http://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/i/>

または、右記のQRコードを読み取りアクセスして下さい。

